** Outlook2016 (Office 365版/365solo版) は本ページの設定画面と異なる可能性がありますのでご注意 ください。

Outlook 2016 メール設定方法

- アカウント作成方法(送信:587番ポート /受信:POP)
- SMTP25番ポートの設定方法
- 。 <u>POP over SSLの設定方法</u>
- SMTP over SSLの設定方法

**CentOS 7系のビジネス・パーソナルシリーズのサーバーを利用している方と、CentOS6/5系の専用サーバー / マネージドVPSでIMAPオプションを利用している方でIMAPの使用をご希望の場合はIMAPの設定方法をご確認ください。

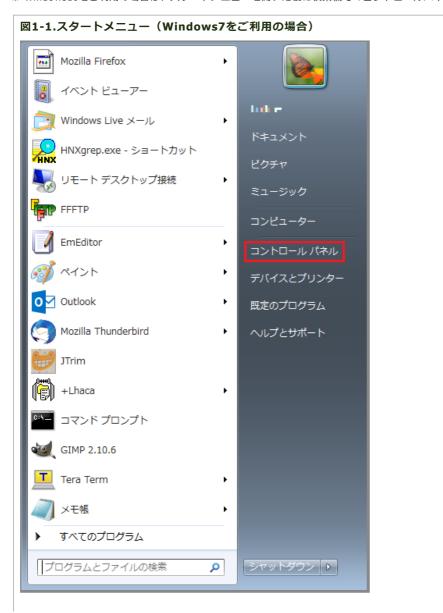
**Outlook 2016 は「APOP」には対応しておりません。Cent OS5系のビジネス・パーソナルシリーズのサーバーを利用している方でIMAPオプションご利用者以外は、ユーザーページ:パスワードの設定でAPOPの設定ができますが、APOPを「利用する」に変更されている方は、「利用しない」ように切り替えてください。

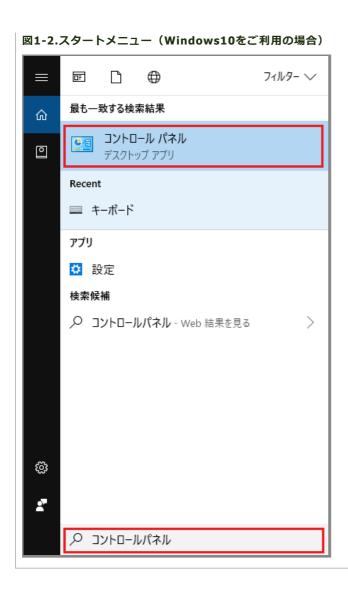
Outlook 2016 アカウント作成方法(送信:587番/受信:POP)

1. コントロールパネルを開きます。

Windowsのスタートメニューから「コントロールパネル」をクリックします。

** Windows10をご利用の場合は、スタートメニューを開いた後に検索欄で「コントロールパネル」と検索するとスムーズに開くことができます。





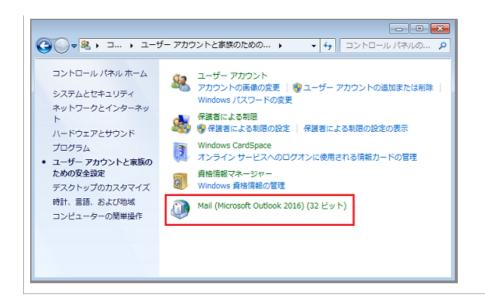
2. Mailを開きます。

「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックします。項目が表示されない場合は、画面右上の「表示方法」を「カテゴリ」に変更してください。



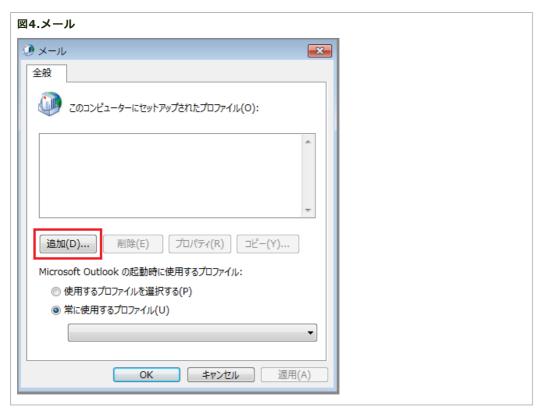
「Mail (Microsoft Outlook 2016) 」をクリックします。

図3.ユーザーアカウントと家族のための安全設定

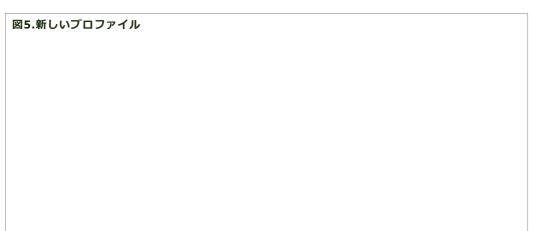


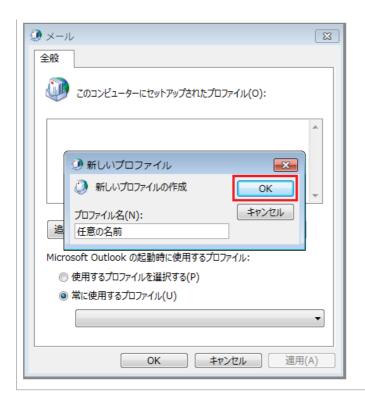
3. プロファイルを追加します。

「追加」をクリックしてください。既にプロファイルやメールアカウントの設定が存在する場合は、表示される画面が異なりますので、手順「4」へ進んでください。



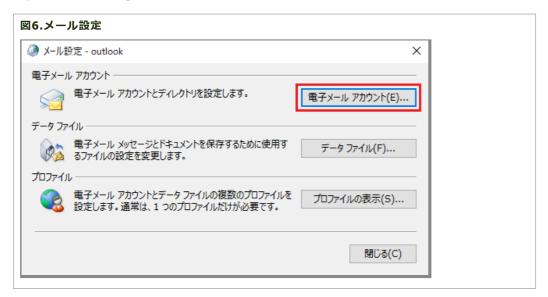
「プロファイル名」に任意の名前を入力し、「OK」をクリックします。その後、手順「5」へ進んでください。





4. アカウント設定を開きます。

「電子メール アカウント」をクリックしてください。



「新規」をクリックしてください。その後、手順「5」へ進んでください。

図7.アカウント設定



5. 自動アカウントセットアップ方法を選択します。

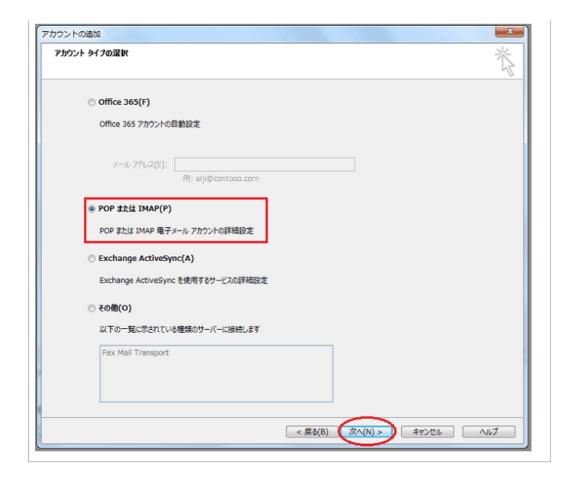
「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)」を選択し、「次へ」をクリックします。



6. サービスの選択をします。

「POPまたはIMAP」を選択し、「次へ」をクリックします。

図9.電子メールアカウント

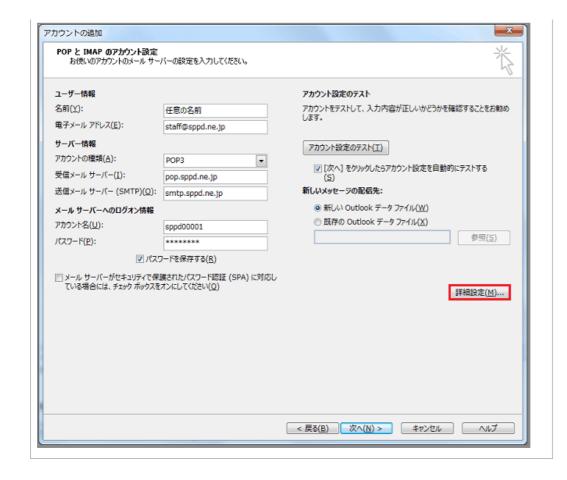


7. 設定内容を入力します。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面が表示されたら、各項目を入力し、「詳細設定」をクリックします。

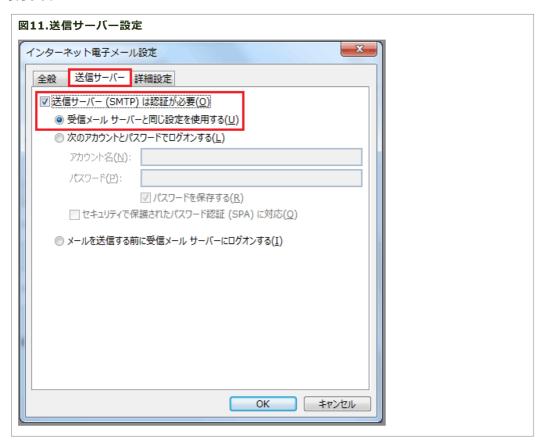
- * 入力項目の詳細は「レンタルサーバー登録通知書」でご確認ください。
 - 。 名前:任意の名前
 - 。 電子メールアドレス:ご利用になるメールアドレス
 - 。 アカウントの種類: POP3を選択
 - 。 受信メールサーバー: 「レンタルサーバー登録通知書」に記載されているPOP3サーバー名
 - 。 送信メールサーバー:「レンタルサーバー登録通知書」に記載されているSMTPサーバー名
 - アカウント名:ご利用になるメールアドレスの「ユーザーID」をご入力ください
 - 。 パスワード : 「メールアドレス」に紐付くパスワードをご入力ください
 - 。 パスワードを保存する : チェックを入れる
 - 。 [次へ]をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする : チェックを入れる

図10.電子メール 設定



8. 送信サーバーの設定を行います。

「送信サーバー」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)は認証が必要」にチェックを入れ、「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」 を選択します。

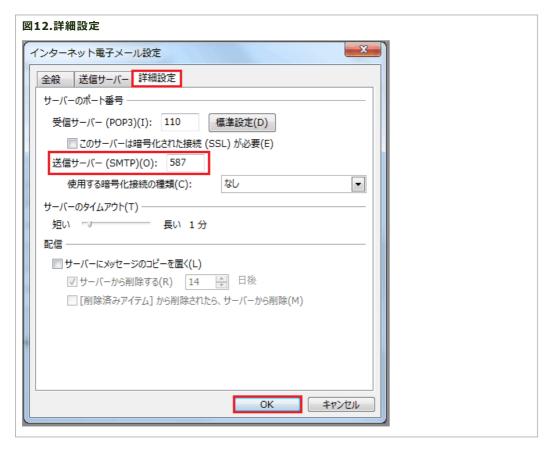


9. サーバーのポート番号の設定を行います。

メール送信ポートを標準の25番ポートで設定を行うと、国内の主なプロバイダー が採用しております「ポート25ブロッキング」により、メールの送信が行えない場合 がございますので、サブミッションポート(587番ポート)に変更頂くことを推奨します。 また、メールの送信時にもパスワードが必要な「SMTP認証(SMTPAUTHとも言います)」 の設定を行う必要があります。

「詳細設定」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)」を「25」→「587」に変更します。入力が終わりましたら「OK」をクリックします。

- ** 「ポート25ブロッキング」を行われていないプロバイダーのプランをご利用の方は、サブミッションポートの設定を行わなくても構いません。詳しくは、ご利用のプロバイダーにお問い合わせください。
- * 「サーバーにメッセージのコピーを置く」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを外してご利用ください。チェックを入れる場合、「サーバーから削除する」の期間をなるべく7日以内に設定頂くようお願い致します。



10. アカウント設定の完了。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックします。

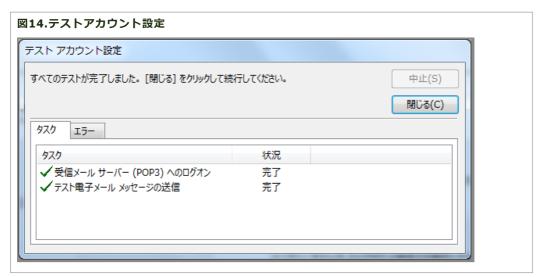


ユーザー情報		アカウント設定のテスト	
名前(Y): 電子メール アドレス(<u>E</u>):	任意の名前 staff@sppd.ne.jp	アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。	
サーバー情報 アカウントの種類(A): POP3 ▼ 受信メール サーバー(I): pop.sppd.ne.jp 送信メール サーバー (SMTP)(Q): smtp.sppd.ne.jp		アカウント設定のテスト(I) ☑ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S) 新しいメッセージの配信先:	
メール サーバーへのログオン情だ アカウント名(<u>U</u>): パスワード(<u>P</u>):	sppd00001	● 新しい Outlook データファイル(<u>W</u>)○ 既存の Outlook データファイル(<u>X</u>)参照(<u>S</u>)	
	『スワードを保存する(<u>R</u>) 『保護されたパスワード認証 (SPA) に対応し 『スをオンにしてください(<u>Q</u>)	; 詳細設定(<u>M</u>)…	

11. 設定したアカウントのテストが行われます。

「テスト アカウントの設定」の画面が表示され、設定した内容でサーバーに接続できるかテストが行われます。「受信メールサーバー(POP3)へのログオン」と「テスト電子メールメッセージの送信」の状況が「完了」になりましたら、アカ ウントの設定が完了となります。

「閉じる」をクリックしてください。



※状況が「失敗」になる場合は下記のエラー文が表示されます。設定項目を確認し入力しなおしてください。

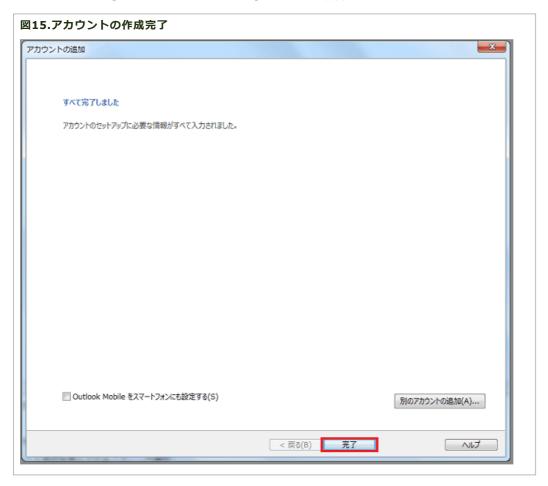
エラー一覧

エラー文	対処方法
電子メールサーバーが見つかりません。アカウントのプロパティでサーバー情報を確認してください。	設定した受信・送信メールサーバー名を確認してください。
電子メールサーバーがログインを拒否しました。[アカウント設定]でこのアカウントのユーザー名とパスワードを確認してください。	設定したアカウント名、パスワードを確認してください。
サーバーが応答しました:550 5.1.1	設定した電子メールアドレスを確認してください。

サーバーが応答しました: 554 5.7.1	「6. 送信サーバーの設定を行います。」を確認して、「送信サーバー(SMTP)は認証が必要」「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」にそれぞれチェックが入っているか確認してください。
受信(または送信)メールサーバーに接続できません。この メッセージを引き続き受信する場合は、サーバー管理者かイ ンターネットサービスプロバイダー(ISP)に問い合わせて ください。	受信(または送信)メールサーバーのポート番号を確認してください。

12. 以上でアカウント設定は完了です。

「すべて完了しました」と表示されますので、「完了」をクリックし画面を閉じます。



SMTP25番ポートの設定方法

サブミッションポートを使用せず、25番ポートを利用する場合の設定方法です。

** ご利用のプロバイダーで「ポート25ブロッキング」が利用されていないことを確認し、設定を行ってください。

【25番ポートでメールを送信する場合のご注意】

POP befor SMTP 機能により、25番ポートでメールを送信する場合は、あらかじめ「受信」を行う必要があります。Outlook 2016では「受信」のみのボタンがないものもありますので、その場合は、[送受信]ボタンを押します。 [送受信]ボタンを押すと、最初の1度目は必ず「送信」がエラーとなります。ただし「受信」は正常に完了しているので、このあともう一度 [送受信]ボタンを押す事で、正常に「送信」が行われます。

1. Mailを開きます。

図16.メール設定



2. 設定変更するアカウントを選択します。

「アカウント設定」の画面が表示されたら、「電子メール」タブをクリックし、設定変更を行いたいアカウントを選択し、「変更」をクリックします。



3. 設定内容を確認します。

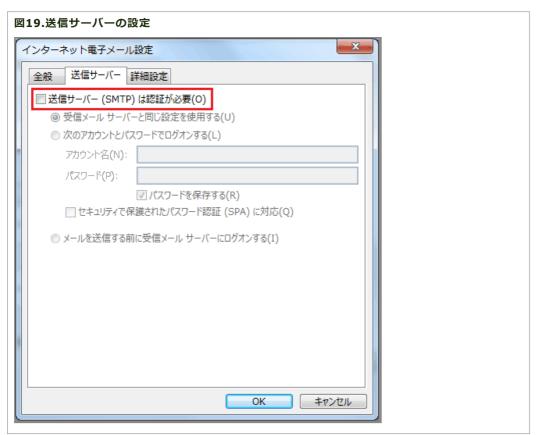
「POPとIMAPのアカウント設定」の画面が表示されたら、「詳細設定」ボタンをクリックします。



ユーザー情報		アカウント設定のテスト
名前(Y):	任意の名前	アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧め
電子メール アドレス(<u>E</u>):	staff@sppd.ne.jp	します。
サーバー情報		アカウント設定のテスト(I)
アカウントの種類(<u>A</u>):	POP3 ▼	
受信メール サーバー([):	pop.sppd.ne.jp	☑ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)
送信メール サーバー (SMTP)(<u>0</u>):	smtp.sppd.ne.jp	新しいメッセージの配信先:
メール サーバーへのログオン情報		新しい Outlook データファイル(<u>W</u>)
アカウント名(U):	sppd00001	○ 既存の Outlook データ ファイル(X)
パスワード(<u>P</u>):	******	参照(<u>S</u>)
	フードを保存する(<u>R</u>)	
	護されたパスワード認証 (SPA) に対応	
□ メール サーバーがセキュリティで保	護されたパスワード認証 (SPA) に対応	じ 詳細設定(<u>M</u>)
□ メール サーバーがセキュリティで保	護されたパスワード認証 (SPA) に対応	
□ メール サーバーがセキュリティで保	護されたパスワード認証 (SPA) に対応	
□ メール サーバーがセキュリティで保	護されたパスワード認証 (SPA) に対応	
□ メール サーバーがセキュリティで保	護されたパスワード認証 (SPA) に対応	

4. 送信サーバーの設定。

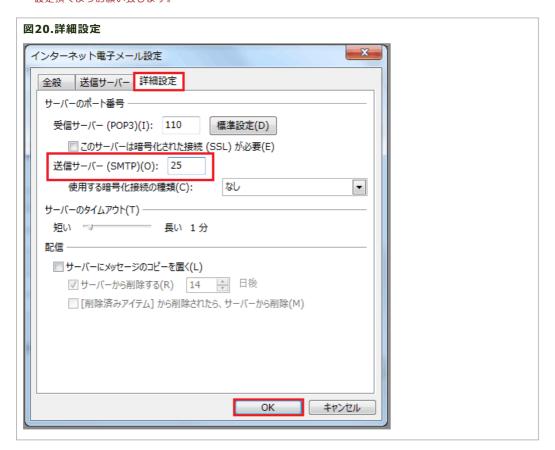
「送信サーバー」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)は認証が必要」のチェックを外します。



5. サーバーのポート番号の設定を行います。

「詳細設定」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)」を「587」→「25」に変更します。入力が終わりましたら「OK」をクリックします。

** 「サーバーにメッセージのコピーを置く」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを外してご利用ください。チェックを入れる場合、「サーバーから削除する」の期間をなるべく7日以内に設定頂くようお願い致します。



6. アカウント設定変更の完了。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックします。

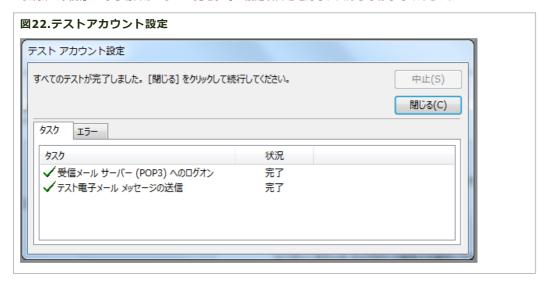


7. 設定したアカウントのテストが行われます。

「テスト アカウントの設定」の画面が表示され、設定した内容でサーバーに接続できるかテストが行われます。「受信メールサーバー(POP3)へのログオン」と「テスト電子メールメッセージの送信」の状況が「完了」になりましたら、アカ ウントの設定が完了となります。

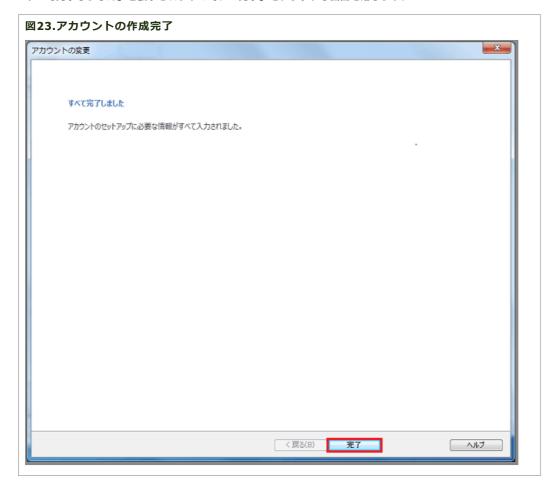
「閉じる」をクリックしてください。

※状況が「失敗」になる場合はエラー一覧を参考に設定項目を確認し、入力しなおしてください。



8. 以上でアカウント設定の変更は完了です。

「すべて完了しました」と表示されますので、「完了」をクリックし画面を閉じます。



POP over SSLの設定方法(任意)

メール受信時の通信を暗号化する「POP over SSL」を利用する場合の設定方法をご案内します。

※ ここまでの設定で、通常のメール送受信は可能です。「POP over SSL」を利用される方のみ任意で設定してください。

1. Mailを開きます。

前述した<u>「Outlook 2016 アカウント作成方法」</u>の手順「1~2」を参考に、Mailを開いて下さい。その後、「電子メールアカウント」をクリックしてください。



2. 設定変更するアカウントを選択します。

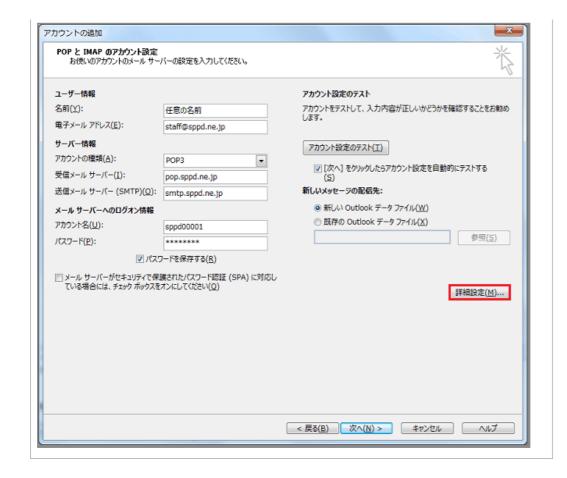
「アカウント設定」の画面が表示されたら、「電子メール」タブをクリックし、設定変更を行いたいアカウントを選択し、「変更」をクリックします。



3. 設定内容を確認します。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面が表示されたら、「詳細設定」ボタンをクリックします。

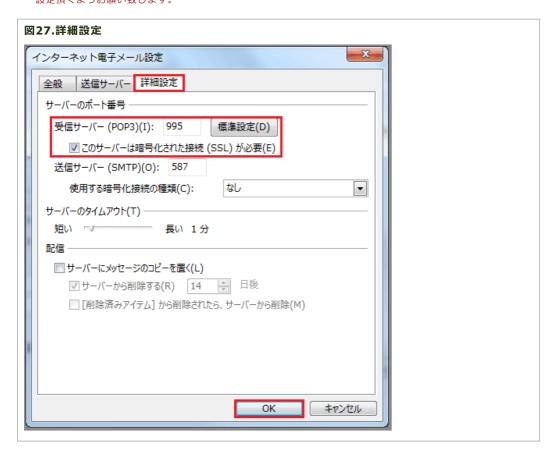
図26.電子メール設定			



4. サーバーのポート番号の設定を行います。

「詳細設定」のタブをクリックし、「受信サーバー(POP3)」を「110」→「995」に変更します。「このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要」に チェックを入れます。入力が終わりましたら「OK」をクリックします。

* 「サーバーにメッセージのコピーを置く」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを外してご利用ください。チェックを入れる場合、「サーバーから削除する」の期間をなるべく7日以内に設定頂くようお願い致します。



5. アカウント設定変更の完了。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックします。

OP と IMAP のアカウント 語 お使いのアカウントのメール	党定 サーバーの設定を入力してください。	茶
ザー情報 	任意の名前	アカウント設定のテスト アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧め
キャ(エノ・ 主子メール アドレス(E):	社悪の名削 staff@sppd.ne.jp	Ust.
一バー情報	эсинфаррине.јр	アカウント設定のテスト(エ)
カウントの種類(<u>A</u>):	POP3	▽ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする
信メール サーバー(エ):	pop.sppd.ne.jp	(<u>S</u>)
信メール サーバー (SMTP)(Q): smtp.sppd.ne.jp	新しいメッセージの配信先:
メール サーバーへのログオン情報		 ⑥ 新しい Outlook データファイル(W)
カウント名(<u>U</u>):	sppd00001	○ 既存の Outlook データ ファイル(X)
スワード(<u>P</u>):	******	参照(<u>S</u>)
_	パスワードを保存する(<u>R</u>) ・で保護されたパスワード認証 (SPA) に対応し ウスをオンにしてください(<u>Q</u>)	, 詳細設定(<u>M</u>)…

6. 証明書の警告が表示されます。

下記の警告が表示されましたら、「はい」をクリックしてください。



7. 設定したアカウントのテストが行われます。

「テスト アカウントの設定」の画面が表示され、設定した内容でサーバーに接続できるかテストが行われます。「受信メールサーバー(POP3)へのログオン」と「テスト電子メールメッセージの送信」の状況が「完了」になりましたら、アカ ウントの設定が完了となります。

「閉じる」をクリックしてください。

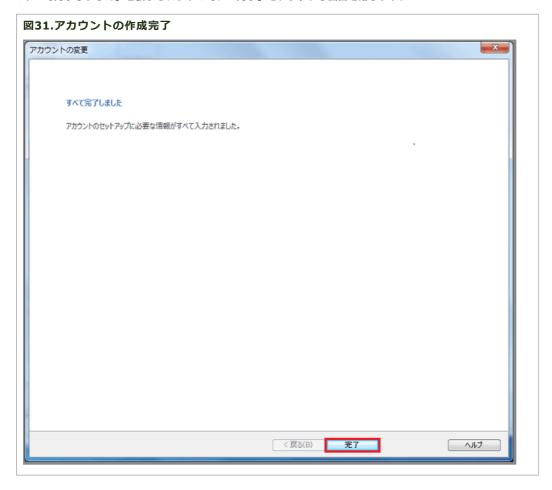
**状況が「失敗」になる場合は $\underline{\mathtt{T}}$ ラー一覧を参考に設定項目を確認し、入力しなおしてください。

図30.テストアカウント設定

テスト アカウント設定		
すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続	中止(S)	
		閉じる(C)
タスク エラー		
タスク	状況	
✓ 受信メール サーバー (POP3) へのログオン✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了	

8. 以上でアカウント設定の変更は完了です。

「すべて完了しました」と表示されますので、「完了」をクリックし画面を閉じます。



9. 証明書の警告の消去方法(共用サーバーご利用のお客様のみ)

POP over SSLを設定しますと、Outlook 2016を起動して1回目のメール受信時のみ証明書の警告が表示されます。共用サーバーをご利用の場合のみ、警告を出さないように設定することができます。 専用サーバー・マネージドVPS・代理店制度では設定ができません。まず、お客様のドメインがどの共用サーバーに属しているかを検索する必要があります。 \rightarrow <u>所属サーバーの検索方法</u>

共用サーバー名が判明しましたら、POP3サーバー名を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更します。

「POPとIMAPのアカウント設定」画面で、「受信メールサーバー」を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更したら「次へ」ボタンをクリックし、テストが完了したら「閉じる」ボタンをクリックしてください。

「アカウントの変更」の画面が表示されたら「完了」をクリックしてください。

** (画像内「www4.sppd.ne.jp」は、あくまでも例です。お客様によってサーバー名が異なりますのでご注意ください。)

図32.電子メール設定



※ [POP before SMTP機能]により、POP3によるメールの受信をしてから20分間だけメールの送信が可能ですが、[POP over SSL]での受信動作では送信可能になりません。そのため、メール送信の際には、通常のPOP3で一旦受信を行っていただくか、サブミッションポート(587番)を利用してメールを送信してください。

SMTP over SSLの設定方法(任意)

- メール送信時の通信を暗号化する「SMTP over SSL」を利用する場合の設定方法をご案内します。
- ** ここまでの設定で、通常のメール送受信は可能です。「SMTP over SSL」を利用される方のみ任意で設定してください。

1. Mailを開きます。

前述した「Outlook 2016 アカウント作成方法」の手順「1~2」を参考に、Mailを開いて下さい。その後、「電子メールアカウント」をクリックしてください。



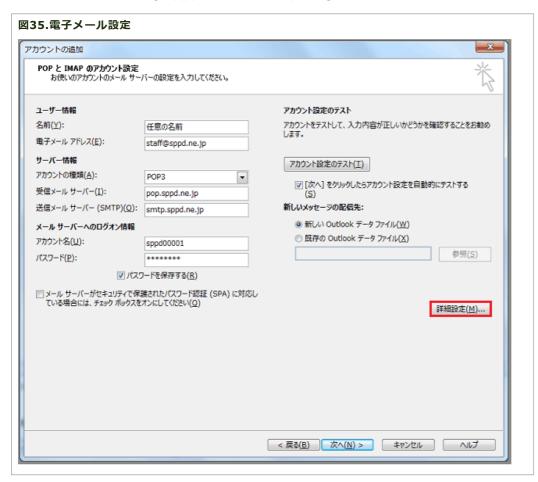
2. 設定変更するアカウントを選択します。

「アカウント設定」の画面が表示されたら、「電子メール」タブをクリックし、設定変更を行いたいアカウントを選択し、「変更」をクリックします。



3. 設定内容を確認します。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面が表示されたら、「詳細設定」ボタンをクリックします。

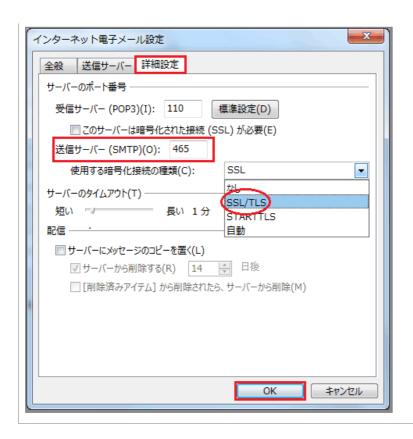


4. サーバーのポート番号の設定を行います。

「詳細設定」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)」を「465」に変更し、「使用する暗号化接続の種類」に「SSL」を選択します。入力が終わりましたら「OK」をクリックします。

** 「サーバーにメッセージのコピーを置く」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを外してご利用ください。チェックを入れる場合、「サーバーから削除する」の期間をなるべく7日以内に設定頂くようお願い致します。

図36.詳細設定



5. アカウント設定変更の完了。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックします。



6. 証明書の警告が表示されます。

下記の警告が表示されましたら、「はい」をクリックしてください。

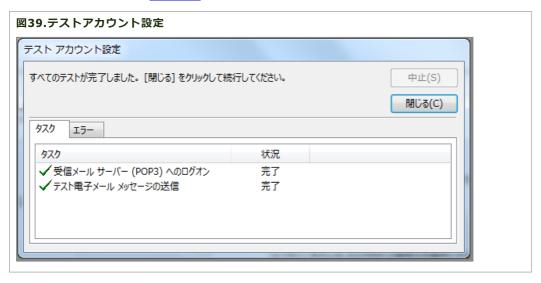


7. 設定したアカウントのテストが行われます。

「テスト アカウントの設定」の画面が表示され、設定した内容でサーバーに接続できるかテストが行われます。「受信メールサーバー(POP3)へのログオン」と「テスト電子メールメッセージの送信」の状況が「完了」になりましたら、アカ ウントの設定が完了となります。

「閉じる」をクリックしてください。

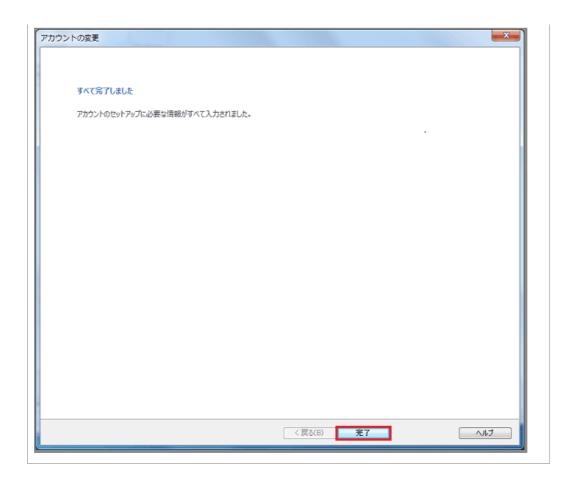
※状況が「失敗」になる場合は<u>エラー一覧</u>を参考に設定項目を確認し、入力しなおしてください。



8. 以上でアカウント設定の変更は完了です。

「すべて完了しました」と表示されますので、「完了」をクリックし画面を閉じます。





9. 証明書の警告の消去方法(共用サーバーご利用のお客様のみ)

SMTP over SSLを設定しますと、Outlook 2016を起動して1回目のメール送信時のみ証明書の警告が表示されます。共用サーバーをご利用の場合のみ、警告を出さないように設定することができます。 専用サーバー・マネージドVPS・代理店制度では設定ができません。まず、お客様のドメインがどの共用サーバーに属しているかを検索する必要があります。 →所属サーバーの検索方法

共用サーバー名が判明しましたら、SMTPサーバー名を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更します。

「POPとIMAPのアカウント設定」画面で、「送信メールサーバー」を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更したら「次へ」ボタンをクリックし、テストが完了したら「閉じる」ボタンをクリックしてください。

「アカウントの変更」の画面が表示されたら「完了」をクリックしてください。

※ (画像内「www4.sppd.ne.jp」は、あくまでも例です。お客様によってサーバー名が異なりますのでご注意ください。)



